

平成 27 年 7 月吉日

お取引先様 各位

機密文書回収事業の収益の一部を視覚障がい者支援に

ケイビーシー開発株式会社  
代表取締役社長 高野伸久

謹啓

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて当社は、1980 年から点字教室を運営し、視覚障がい者のための点訳ボランティアの養成支援活動に携わって参りました。

そのご縁で、昨年末、視覚障がい者を対象とした、「バリアフリー映画上映会」を、KBC チャリティミュージックソン 40 回特別企画として、福岡市のボランティア団体「バリアフリーシアター エイム i n g」と共同で運営開催いたしました。

#### 「バリアフリー映画」とは・・・

バリアフリー映画について簡単にご説明します。視覚や聴覚に障がいのある方々のために、映像や音の解説を、副音声や日本語字幕でつけた映画が「バリアフリー映画」と呼ばれるものです。昨年末の上映会は、目の不自由な方々のために、外国語の吹替えや映像の解説を FM ラジオで聞く方式で行ないました。

このような方式で映画が上映されることにより、障がいのある方々も共に映画を楽しむことができるようになり、文化や芸術面で周囲との交流が一層進み、社会参画の幅が広がります。しかし残念なことに、映画製作会社がこういった方式で鑑賞可能な映画を製作することは殆どなく、もっぱら各地のボランティア団体が、限られた資金のなかから字幕や副音声を制作して、上映会を開催しているのが現状です。

冒頭でご紹介した、ボランティア団体、「バリアフリーシアター エイム i n g」は『視覚障がい者を対象に映画を上映する際、副音声または字幕を準備すると共に、バリアフリーの輪を広げ、映画及び映像の世界にバリアフリーを実現する。』を合言葉に活動され、福岡市ボランティア連絡協議会 視覚障がい者部門所属のボランティア及び趣旨に賛同した福岡市近郊の個人で構成されています（活動内容詳細は別添資料をご参照ください）。

#### 機密文書回収事業の収益の一部を活動支援に・・・

当社としては、今後も引き続きバリアフリー上映会を、エイム i n g と共に運営する活動をおこなっていく所存であります。ところが、団体が所有する上映会に必要な設備が不足していることがわかりました。つきましては、今年度から、機密文書回収事業の収益の一部で、不足している設備を購入し、この団体に寄付させていただくことに致しました。購入する設備は、当面、鑑賞者が使用する FM ラジオとし、寄付の時期は年度末を予定しています。

近年、企業の社会的責任（CSR）がクローズアップされ、社会貢献活動が企業価値を高める時代となっています。機密文書のリサイクルも、紙資源を無駄にしない環境保全のための重要な社会貢献活動と言えます。この活動が、さらにバリアフリー上映会を支えるという二重の社会貢献活動となり、お取引企業様の企業価値をさらに高めることに資するものと確信しております。視覚障がい者支援とバリアフリーな社会の実現のためにご理解賜りますようお願い申し上げます。

尚、今後、バリアフリー映画についてのご理解を深めていただくとともに、社会貢献内容を実感していただくために、エイム i n g の活動報告や福岡県内でのバリアフリー映画上映スケジュールなど、随時ご報告させていただきます。

敬 白